

令和7年度 事業報告

I 概要

時代の変遷に伴う物価や賃金水準の上昇など、私たちの生活環境は今、大きな転換期を迎えています。また、全国的な少子高齢化の進展により、地域や地元企業の担い手不足がより一層切実な課題として顕在化してきました。

朝来市においても60歳以上の人口が全体の44%を超えるなど高齢化が加速する中、地域を支える当センターが果たすべき役割、そして市民の皆様からの期待は、かつてない重みを帯びて高まっています。

そのような中で令和7年度は、当センターでは運営上の新たな局面を迎え、新しい契約方法の導入やデジタル化への挑戦を積み重ねてまいりました。こうした結果、事務の効率化のみならず必要な情報が確実に早く皆様へ届く体制が整いつつあります。

また、シルバー人材センターでの活動がフレイル抑制に繋がるという研究発表は、私たちの活動に大きな自信を与えてくれました。これは仕事を通じた地域貢献のみならず、共に学び、交流する場を創出してきた私たちの歩みが、皆様の健康と活力の源となっていることが証明されたからです。会員の皆様が生き生きと活躍される姿こそが、当センターが生涯現役の輝ける場所であることの証だと改めて強く実感しております。

事業実績は、会員数554名（前年度末比41名増）、契約金額277百万円（前年度比1,244千円増）を達成するなど堅調に推移し、事業運営の可能性を広げる意義深い一年となりました。

以上の実績等に基づき、令和7年度の事業につきまして報告いたします。

II 事業内容

1. 公益目的事業

(1) 新たな就業機会の促進と会員数の拡大

- ① 人手不足が深刻化する中、従来の請負・委任契約に加え、民間企業からの依頼に柔軟に対応できるよう、労働者派遣事業を積極的に活用し、発注者と会員の皆様がより円滑に連携できる環境を整えました。また、契約額の約半数は、朝来市役所をはじめとする公共団体からの仕事であり、こうした安定した受注基盤は、当センターの健全な運営を支えるとともに、働く会員の皆様にとっても大きな安心感へと繋がっています。
- ② 「家庭ゴミ戸別収集サービス（はっぴいサービス）」や不用品処分の利用者増加に見られるように、シルバー世代の力が地域の安心を支える重要な柱となっています。制度や環境が変化する中でも、会員の皆様の経験を地域に還元し、互いに支え合う地域共生社会の実現に向けた歩みを進めました。

- ③ 会員数の減少が課題となる中、令和7年度は地域に踏み込んだ広報活動に注力しました。ハローワークでの定期的な出張説明会や、11月の全戸配布チラシによる積極的なPRが実を結び、77名もの新規入会を迎えることができました。また、退会者が減少したこともあり、会員数は前年度より41名増加し554名に達しました。

【会員数・事業実績額】

単位：(名、千円)

	会員数	請負・委任契約金額	派遣契約金額	合計
前年度	513	196,188	79,713	275,902
実績	554	171,812	105,334	277,146
前年比	41	△24,376	25,620	1,244

(2) 安全を最優先した就業体制

- ① 近年の記録的な猛暑は、屋外作業の多い当センターにとって看過できない課題であり、会員の皆様の健康と安全を第一に考え、熱中症のリスクが高い時期の草刈りや剪定作業については無理な受注を控えるなど、作業件数を管理しながら運用しました。その結果、一部の職種で受託件数は減少しましたが、安心安全で長く活躍し続けられる組織としての基盤を優先しました。
- ② 受注時の情報を事務局と職群班長で共有し、安全な就業機会の提供と安全パトロールによる安全就業意識の向上に努めました。また、熱中症対策として空調服の購入助成制度を継続して設けるなど、様々な危険リスクへの備えを強化しました。

(3) 各種研修会の開催

公益社団法人兵庫県シルバー人材センター協会（以下、「兵シ協」という。）が主催する刃物研ぎ講習会ならびにときめくお洒落講習会を当センターで開催し、新規会員の拡大や既存会員のスキルアップに努めました。

(4) 社会参加づくりの取組み

会員の社会参加を促す取り組みとして、「懐メロでちょいトレ！講座」を毎月開催し、楽しみながら健康を維持する機会を設けました。また、囲碁やハーモニカ、健康麻雀、ゴルフ、カラオケ、映画などの多彩な同好会活動を支援し、趣味を通じた会員同士の交流を促進しました。

さらに、本年度は交流活動を主軸とする「ハピネス会員制度」を創設し、仕事以外の場でも、多様な繋がりや居場所がある環境づくりを強化しました。

(5) 広報活動の充実

広報活動においては、ボランティア活動の様子を市ケーブルテレビで放映したほか、年度内に2回発行した会誌「シルバーあさご」には、最近の入会者へのインタビューや表彰者の紹介に加え、お客様からの感謝

の声、さらには多様な経歴を持つ会員一人ひとりの人生を振り返る特集記事などを写真付きで掲載し、内容を大幅に充実させました。

(6) 労働者派遣事業

兵シ協が実施する一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）では、小中学校・こども園、スーパーマーケット、福祉施設、製造工場、飲食店など、多岐にわたる事業所からの受注が拡大しました。当期の契約件数は102件、契約金額は105,334千円（前年度比25,620千円増）となり堅調な成長となりました。

(7) 有料職業紹介事業

兵シ協が実施する有料職業紹介事業の実施事務所として、高年齢者の就業に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者に、有料職業紹介事業が実施できる体制を整えました。

2. 法人事業

- (1) 定時総会を5月30日に開催し、令和6年度収支計算書類の承認のほか、理事ならびに監事の選任と理事長に対する権限委任について、それぞれ承認を受けました。
- (2) 総務部会ならびに理事会を各7回開催したほか、正副理事長並びに常務理事が第4回理事会（9月24日開催）、第7回理事会（3月18日開催）において職務の執行について報告しました。
- (3) 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会主催の新任事務局長研修会をはじめ、近畿管内および兵庫県内で開催された各種研修会へ職員を派遣し、次世代に求められる専門知識や能力の習得に努めました。
- (4) フリーランス法への対応として、令和8年度から運用を開始する新契約方式の導入準備を押し進めました。具体的には、職員の専門知識習得に向けた研修を実施するとともに、会員向けの説明会を開催するなど、円滑な制度移行に向けた周知徹底に努めました。
- (5) 迅速な情報提供および経費削減・業務効率化を目的として、会員専用アプリ「スマイルトゥスマイル」の普及を推進しました。デジタル化への対応および継続的な周知活動を徹底した結果、登録者数は436名を突破し、登録率は78%に達しました。

3. 共益事業

親睦委員会では、恒例となっているウォーキングやスポーツ大会、年2回の交流会など企画しました。会員のご家族やご友人、地域の皆様も気軽に参加できるオープンなイベントとして定着し、世代や立場を超えた多くの交流が生まれる場となりました。